

平成 2 4 年第 2 回定例会（9 月議会）

農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

平成 2 4 年 9 月 1 4 日

農 林 水 産 部

目 次

1	新エネルギー活用型周年農業実証事業における 実証経営体の決定について〔農林政策課〕 -----	1
2	「第15回全国農業担い手サミットinあきた」の 開催計画と準備状況について〔農林政策課〕 -----	2
3	人・農地プランの作成状況と青年就農給付金の見込みについて〔農林政策課〕 -----	4
4	ダリアのオリジナル品種のデビューについて〔園芸振興課〕 -----	6
5	第10回全国和牛能力共進会（全共）への出品牛について〔畜産振興課〕 -----	7
6	「秋田県水と緑の森づくり税事業」次期計画の考え方について〔森林整備課〕 -----	9

1 新エネルギー活用型周年農業実証事業における実証経営体の決定について

農林政策課

周年農業の普及を図るため、秋田市仁井田の旧農業試験場跡地において、地下水熱や太陽光などの新エネルギーを活用した農業経営の実証・展示を行う「新エネルギー活用型周年農業実証事業」を今年度からスタートさせている。

事業の実施に当たっては、「実証経営体」を公募・選定することとし、この度、経営のモデル性や普及性等の観点から審査を行った結果、次の４者を実証経営体として決定した。

今後、速やかに農業生産施設の実施設計に着手し、平成２５年４月から工事を実施する予定で、完成次第、順次実証を開始する。

1 実証経営体一覧

実証経営体	栽培品目(予定)	新エネルギー施設の種類
互大農事有限会社 (秋田市添川)	・サンチュ（水耕栽培） 菌床しいたけ	・地下水熱利用ヒートポンプ ・太陽光発電システム
佐々木善明（秋田市雄和）	・ダリア	・地下水熱利用ヒートポンプ
榎進栄（秋田市四ツ小屋）	・ハウレンソウ、チンゲン サイ、ブロッコリー ほか	・地下水熱利用ヒートポンプ
マッシュ・ファミリー 有限会社（三種町）	・白神あわび茸	・地下水熱利用ヒートポンプ

2 今後のスケジュール

平成24年 9月：農業生産施設の設計業務委託（実証経営体 → 設計業者）
11月： 〃 の概算設計書の完成、25年度予算への反映
平成25年 2月： 〃 の実施設計書の完成
4月： 〃 の整備工事に着手
施設整備の終了後、準備が整い次第、順次営農を開始

2 「第15回全国農業担い手サミットinあきた」の開催計画と準備状況について

農林政策課

1 開催目的

認定農業者や集落営農組織など全国の農業の担い手が一堂に会し、相互研鑽と交流を通じて、農業経営の現況や課題について認識を深めるとともに、自らの経営改善と地域農業の発展に資する。

2 開催期日 平成24年10月31日（水）～11月1日（木）

3 大会テーマ 「ニッポンを耕そう！ ユタかな国へ」

4 主 催 「第15回全国農業担い手サミットinあきた」実行委員会、全国農業会議所
(実行委員会は秋田県認定農業者組織連絡協議会 他24の機関及び団体で構成)

5 開催場所 全 体 会 : 秋田県立武道館（秋田市向浜）
地域交流会 : 県内13カ所

6 参 加 者 全国の認定農業者等 : 2,200人
来賓その他関係者 : 300人 計 約2,500人

7 日 程

(1) 【1日目】10月31日（水）全体会及び地域交流会

項 目	全 体 会	地 域 交 流 会
時 間	12:30～15:30	18:00～20:00
会 場	秋田県立武道館	県内13会場
内 容	○ 歓迎アトラクション ○ 開会のことば ○ 主催者あいさつ ○ 歓迎のことば ○ 全国優良経営体表彰式 (個人部門、法人部門、集落営農組織部門) ○ 農林水産大臣賞受賞者からの基調報告 ○ パネルトーク ・テーマ : 「再生・復興、そして未来へ」 ・パネリスト : 岩手県 佐藤信一 (陸前高田市認定農業者の会会長) - 宮城県 宍戸孝行 (JAみやぎ亘理いちご生産連絡協議会長) - 福島県 元木 寛 (有限会社とまとランドいわき専務取締役) - 秋田県 石垣一子 (陽気な母さんの店友の会会長) ○ サミット宣言 ○ 次期開催県 (石川県) への引継 ○ 閉会のあいさつ ○ 閉会のことば	

(2) 【2日目】11月1日(木) 地域交流会

地域交流会	参加者数	視察コース (8:00～14:00)		
鹿 角	180	かづのりんご満喫コース	かづの牛と6次産業起業家コース	ブランド豚とグリーン・ツーリズムコース
北 秋 田	180	経営の多角化に取り組む農業法人とときりたんぼ手作り体験コース	6次産業化に取り組む農業法人コース	建設業者の農業参入と経営の多角化に取り組む農業法人コース
山 本	220	白神ねぎと秋田県種苗交換会コース	地域資源を活かした直売所コース	
藤 里	60	白神山と中山間地域農業コース		
秋 田	120	美酒王国「秋田」と食・農・観コース	次世代を担う農業者育成と食・農・観コース	
男鹿・潟上	120	なまはげとジオパーク男鹿コース	「種苗交換会の祖」聖農石川翁とフラワーコース	
南 秋	120	大規模な稲作と美酒コース	干拓の歴史と地産地消の取組コース	
由 利	250	由利の農産加工品味わい体験コース	こだわりの米づくり・米加工体験コース	鳥海高原を満喫！由利の酪農・畜産コース
大 仙	240	法人経営とJ A秋田おぼこライスターミナルコース	地域をリードする法人経営コース	
仙 北	180	観光と融和した農林業コース	農林業体験交流と転作受託農業法人コース	
美 郷	60	地域水資源をフルに活用した農業振興コース		
平 鹿	240	豪雪被害からの再生を目指す果樹産地コース	横手盆地で繰り広げられる複合・直売コース	伝統の味と新開発商品・横手の特産品コース
雄 勝	240	雄勝の複合化をリードする園芸作物コース	雄勝の6次産業起業家コース	
計	2,210	計 28コース		

8 そ の 他

県外からの参加者に対し、次により本県の「食・農・観」のPRを行う。

- 全体会の会場にパネル展示コーナーを設置。
{

 本県試験研究機関が開発したオリジナル品種や生産・加工製造技術、地域ごとの特徴的な産地、県の主要施策等をパネル展示

}
- 全体会の会場に秋田の食の展示コーナーを設置。
 (県内の農業法人や起業グループ等の開発商品を展示・試食)
- 全体会当日、受付開始から式典開会までの時間を利用し、式典会場においては、会場スクリーンで、休憩室においてはTV等で本県の観光DVDを放映。
- 各地域交流会においても、様々な形で地域の観光PRを展開。
- 山本地域交流会において、現地視察コースに第135回秋田県種苗交換会を組入れるほか、サミット翌日、秋田市から種苗交換会見学バスの運行を計画。

3 人・農地プランの作成状況と青年就農給付金の見込みについて

農林政策課

1 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)

(1) 人・農地プランとは

- 地域農業が抱える担い手等の人の問題と農地利用の問題を解決するため、集落等での話し合いをもとに、将来の地域農業のあり方を定めた計画。
- 青年就農給付金(経営開始型)や農地集積協力金等は、プラン作成が要件化。

(2) 作成状況

- 県内のプラン作成数は、8市町村、36地区(120集落)で、この他約90集落で具体の話し合いが進められている(8月末現在)。

【各市町村の作成状況】

鹿角市3地区(3集落)、大館市2地区(2集落)、三種町8地区(68集落)
八峰町3地区(12集落)、大潟村1地区(1集落)、にかほ市3地区(3集落)
大仙市3地区(6集落)、羽後町13地区(25集落)

(3) これまでの活動状況

- プランの周知については、2月～3月の集落座談会をはじめ、各地で事業説明会を実施している。
- プラン作成に向けた重要なステップとなる意向調査については、21市町村で実施済み。残る市町村も年度内の実施を検討している。

(4) 重点地区の設定と今年度の目標

- 各市町村ごとに重点地区(20市町村、25地区)とプラン作成目標を設定し、その進行管理に努めている。
- 県全体では、集落数ベースで1,200程度の作成を目標としている。

(5) 主な課題と対応

- 話し合いを引っ張っていく地域のリーダーやマンパワーが不足。
 - 地域振興局職員の座談会への出席、農業委員会やJA等の積極的参画。
- プラン作成のメリットが限定的なことから、集落座談会への参加率が低迷。
 - 計画作成の趣旨を粘り強く説明。地域全体を後押しするような支援策の強化。
- プラン作成が要件化されている青年就農給付金(経営開始型)への影響。
 - 給付対象者のいる地区・集落での指導強化。

2 青年就農給付金の給付見込み

(1) 給付金の概要

- 準備型：就農前の研修期間（最長２年間）、年額１５０万円を給付。
給付機関は(社)秋田県農業公社。
- 経営開始型：原則４５歳未満の独立・自営就農者に対し、経営が不安定な期間（最長５年間）、年額１５０万円を給付。人・農地プラン作成が要件化。
給付機関は市町村。

(2) 給付見込み

	対象者数（人）			事業費（千円）		
		準備型	経営開始型		給付金	推進費
県当初予算	160	30	130	251,970	240,000	11,970
要望(8月時点)	159	21	138	184,183	180,375	3,808
国の割当内示	116	—	—	184,183	174,000	10,183

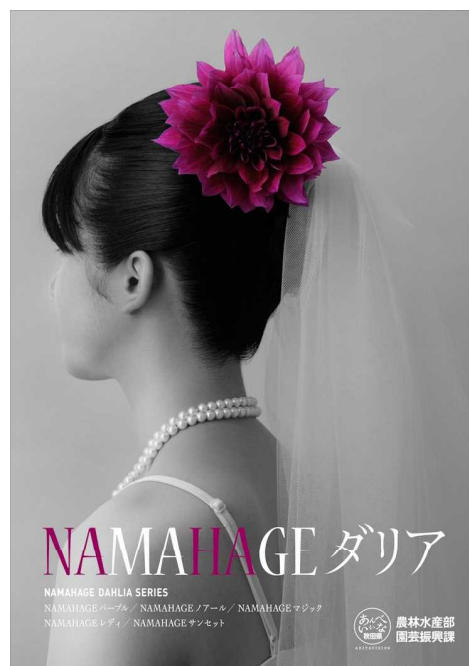
- 要望額が国の内示額を超えていることから、推進費の一部を流用し、給付金を確保する予定である。
- 今後、新たな事業要望が出てくる可能性もあり、給付要件を満たす者全員が対象となるよう、様々な機会を捉えて、十分な財源を確保するよう国に要望している。

4 ダリアのオリジナル品種のデビューについて ～ 「NAMAHA GE」シリーズ ～

園芸振興課

- 本県のダリアを全国トップブランドに育成するため、平成23年度から世界的に著名な育種家である秋田市の鷺澤幸治氏（秋田国際ダリア園園長）と連携し、オリジナル品種の開発に取り組んでいる。
- 市場関係者や小売店の実需者を対象に、平成23年10月に東京大田市場で人気投票を実施した結果、5種類のオリジナル品種（パープル、ノアール、マジック、レディ、サンセット）を選出した。
- これらについて、本県のオリジナルダリアであることを連想させるインパクトの強い名称とするため、県イメージアップ戦略アドバイザーの梅原真氏の助言により、今般、「NAMAHA GEダリア」と命名し、本年9月から大田市場に本格出荷している。
- 今後も、需要の多い大田市場で人気投票を行い、平成25年度まで毎年5品種のダリアを選出し、NAMAHA GEシリーズを拡大させていくこととしている。
- 平成24年度の生産・販売見込み

区 分	ダリア全体	
		うちNAMAHA GE シリーズ
栽培戸数	56戸	25戸
栽培面積	4ha	0.5ha
販売金額	4,400万円	650万円
出荷本数	35万本	5万本



5 第10回全国和牛能力共進会（全共）への出品牛について

畜産振興課

平成24年10月25日（木）～29日（月）に長崎県で開催される全共への本県の出品牛15頭が決定した。

チャンピオンを目指して取り組んできた「肉牛の部」には、県有種雄牛の産子5頭が出品され、10月27日に枝肉格付、翌28日に等級が決定する。

1 本県からの出品牛

出 品 区			月 令 等	出品牛名号	血 統 (父牛)	出品者住所	出品者氏名
種牛の部	第 1 区	若雄	15～23カ月未満	藤麿呂79	松昭秀	秋田県	県畜産試験場
	第 2 区	若雌の 1	14～17カ月未満	ふくやす	安平安	由利本荘市	佐 藤 久 一
	第 3 区	若雌の 2	17～20カ月未満	あさひ	北平安	由利本荘市	小 松 久 平
	第 5 区	繁殖雌牛群 (1 群 4 頭)	3 産以上	ひさただ	勝忠平	大仙市	高 橋 幸 誠
				あつよし 1	篤桜	大仙市	高 橋 博 志
				はるにしき176	百合茂	仙北市	田 口 春 美
				におう197	安茂勝	仙北市	相 馬 勲
	第 6 区	高等登録群 (1 群 3 頭)	14カ月以上	さとひめ 1	平茂勝	由利本荘市	荘 野 高 光
				みつひめ	美津照	由利本荘市	大 場 明
				みつひめ 1	百合茂	由利本荘市	大 場 明
小 計			1 0 頭				
肉牛の部	第 8 区	若雄後代検定牛群 (1 群 3 頭)	24カ月未満	厨川212	義平福	仙北市	伊 藤 則 夫
				岩瀬292	義平福	秋田市	高 橋 長 寿
				義勝	義平福	由利本荘市	板 垣 幸 三
	第 9 区	去勢肥育牛	24カ月未満	春錦266	堅義	仙北市	伊 藤 則 夫
				金弘	松昭秀	羽後町	佐 藤 金 市
	小 計			5 頭			
合 計			1 5 頭				

太字は県有種雄牛

2 全共のスケジュール

月 日	「種牛の部」(第1～6区)会場 【ハウステンボス】	「肉牛の部」(第8～9区)会場 【佐世保市食肉地方卸売市場】
10月21日 (日)	・第1区(1頭) あきた総合家畜市場から長崎へ出発	・第8区(3頭)、第9区(2頭) あきた総合家畜市場から長崎へ出発
10月22日 (月)	・第2区(1頭)、第3区(1頭)、第5区(4頭)、 第6区(3頭) あきた総合家畜市場から長崎へ出発	
10月23日 (火)	・第1区 会場へ搬入	・第8区 会場へ搬入
10月24日 (水)	・第2区、第3区、第5区、第6区 会場へ搬入 ・第1区 測定	・第8区 と畜、冷蔵 ・第9区 会場へ搬入
(第1日) 10月25日 (木)	・ 宮様御台覧・開会式 ・第2区、第3区、第5区、第6区 測定	・第9区 と畜、冷蔵
(第2日) 10月26日 (金)	・第1区、第2区、第5区、第6区 審査	
(第3日) 10月27日 (土)	・第3区 審査	・第8区、第9区 枝肉格付・測定、審査
(第4日) 10月28日 (日)	・第1区、第2区、第3区、第5区、第6区 等級決定	・第8区、第9区 等級決定 ・枝肉セリ
(第5日) 10月29日 (月)	・閉会式 ・出品牛搬出	

6 「秋田県水と緑の森づくり税事業」次期計画の考え方について

森林整備課

平成25年度からの「秋田県水と緑の森づくり税事業」次期計画（5年間）の考え方については、次のとおりである。

1 次期計画の基本方針

- (1) 将来の豊かな水と緑をめざして、環境や公益性を重視した森づくりや、森林ボランティアなど県民参加の森づくり運動を引き続き推進する。
- (2) 事業の内容については、森林環境を巡るこの5年間の状況変化等を踏まえ、見直す。

2 主な見直しの内容

別紙のとおり

3 経過と今後のスケジュール

平成24年 4～8月：「水と緑の森づくり基金運営委員会」での検討（3回）

9月：県議会へ次期計画の考え方を説明

10月：県民や関係団体等を対象に次期計画の考え方を説明

「水と緑の森づくり基金運営委員会」で次期計画（骨子案）を検討
パブリックコメントの実施

11月：「水と緑の森づくり基金運営委員会」で次期計画（案）を検討

12月：県議会へ次期計画（案）を説明

平成25年 2月：県議会へ次期計画（最終案）を説明し、正式決定

3月：「水と緑の森づくり基金運営委員会」へ次期計画を報告

4月：次期計画開始

秋田県水と緑の森づくり税事業 次期計画の考え方について（H25～29）

1 水と緑の森づくり事業（ハード）

～森林環境や公益性を重視した森づくり～

事業名	事業内容・実績
● 豊かな森づくり ～ 健全な生態系の維持回復 ～	
1 針広混交林化事業	高標高地等の生長の悪いスギ林で針広混交林づくり（5年間で1,930ha）
2 広葉樹林再生事業	牧場跡地等で植栽により広葉樹林を再生（132ha）
● 暮らしを守る森づくり ～ 彩り豊かな森・海岸マツ林等の保全～	
3 マツ林健全化事業	幹線道路沿い等の松くい虫被害枯死木の伐採を実施し景観を向上（6万m ³ ）
4 里山林保全事業	森林環境教育やボランティアの活動の場となる森林公園等を整備（14カ所）

5カ年の状況変化
・奥山はおおむね整備 ・観光振興や獣害対策等の面から里山林の荒廃が問題
（牧場跡地等での事業要望あり）
・内陸部のマツ枯れが残存 ・ナラ枯れ被害が急激に増加、高速道路沿い等で被害が目立ち観光や景観上支障
・森や水とのふれあいの場や、森林ボランティアが活動できるフィールドの整備が不十分 ・学校林が未整備



◆次期計画の基本方向（案）◆

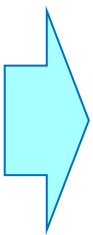
事業名	新たな対策（主な見直し内容）
● 豊かな森づくり ～ 里山林等の健全な生態系の維持回復	
（対象地の見直し）	● 集落周辺など里山林に対象地を移行 集落周辺などの放置された里山林を手入れし機能を回復
（継続）	（広葉樹植栽による森林再生）
● 暮らしを守る森づくり ～ マツ林・ナラ林等の健全	
マツ林・ナラ林等健全化事業（拡充）	● 枯れマツの伐採地を内陸部に拡大 ● ナラ枯れ被害木処理を追加 幹線道路沿い等のマツやナラの枯死木を伐採
● ふれあいの森づくり ～ 森と遊び、学び、暮らす～	
ふれあいの森整備事業（拡充再編・名称変更）	● 「森や水とのふれあい拠点」を整備 学びの森や森林ボランティアの森、癒やしの森、湧水・名水の森などを整備

2 水と緑の森づくり推進事業（ソフト）

～県民参加の森づくり～

事業名	事業内容・実績
● みんなでつくる森 ～ 県民参加の森づくり～	
1 森林ボランティア活動支援事業 2 森づくり県民提案事業 3 植樹・育樹ふれあい支援事業	5ヶ年間の森づくり参加者数の目標6万人に対し、約7万8千人を達成見込みで、森林ボランティア活動が活発化
4 森林環境教育推進事業	児童生徒を森林環境学習の支援、指導者の養成研修（157校、児童等16,100人、指導者育成430人）
5 普及啓発事業	森林祭やフォーラム等の開催、森林の調査・研究、教育・普及資料作成、基金運営委員会の開催など

5カ年の状況変化
・森林ボランティアの高齢化や新規団体組織化の停滞、活動内容の固定化などが課題
・学校での森林環境教育が活発化 ・木材を活用した教育プログラムへのニーズ大
・森林ボランティアのイベントやフィールド等の情報提供の一元化が必要 ・活動実施の相談・指導の窓口が必要



事業名	新たな対策（主な見直し内容）
● みんなでつくる森 ～ 県民参加の森づくり～	
県民参加の森づくり活動推進事業（再編）	● 森林ボランティア団体、県民、企業、市町村等による県民参加の森づくり活動を引き続き支援 ① 森林ボランティア活動支援 ② 森づくり県民提案 ③ 市町村の森づくり活動推進
（拡充）	● 「木育」を追加 児童・生徒が木とふれあえるプログラムを支援
（拡充）	● 森林ボランティア活動をサポートするワンストップ窓口を設置 新たなボランティアの育成や指導者の派遣、イベントや活動フィールドの紹介・情報提供等を一体的に実施